

多摩市立図書館本館再構築基本構想 議論の素材／第五回 基本構想策定委員会議録(テーマ分類)

多摩市立図書館本館再構築基本構想
策定委員会 会議録抜粋資料

日時：平成29年10月29日(土)14：10～17：20
場所：多摩市役所 西会議室

学校図書館司書ヒアリングから	公共図書館の可能性	基本構想の骨組み	基本構想に盛り込みたい項目（資料・情報）
<p>○週3便は近隣市にない連絡便運行 図書館システム端末を設置して公共図書館とオンラインで繋がっている。</p> <p>○(児童が)なかなか公共図書館に足がむかないと。 ○自分から地域の図書館に行けるよう支援したい。 待っていても利用は伸びないので、学童クラブに団体貸出をすることなども検討したい</p> <p>学校への出前おはなし会</p> <p>○一部の学校でボランティアがおはなし会を行っている。20年活動が行われている学校、各学期、授業時間1時間、全クラスでおはなし会をする。</p>	<p>○最近の図書館サービスの紹介 新しいことではなく、図書館の基本的なサービスへ取り組みを進めていくところとなる。市民の自己実現のために図書館が役割を果たしていくか。</p> <p>○「自己判断自己責任」型社会への移行 ○市民の情報環境の変化と従来の情報システムの限界 ○人生の「課題」は複合して起こる。 ・図書館は「ワンストップ窓口」</p> <p>○ビジネス支援 ・図書館で技術資料・統計資料収集、融資相談先や商品デザイナーの紹介まで情報を得られた。</p> <p>○「仕事・資格コーナー」資格試験などの問題集の貸出 ○企業データベースの調べ方講座 ○働く気持ち応援コーナー ・離職から再就職までメンタルケアを含めた資料提供。 ○病院の図書室 ・看護師や専任司書を配置する事例 ・大学図書館や市立図書館と相互協力協定を締結。 ・浦安市立図書館では、入院患者に本を届けるサービス</p> <p>○「思い出語り」回想法、図書館の高齢者向けサービス ○暴力団と闘った主婦 ○職員の仕事の情報提供に県庁図書室を設置し活用 ・「図書館のミッションを考える」片山善博氏の論文。</p> <p>○シアトル公立中央図書館の事例 ・供用空間（ラーニングコモンズ） ・400台の端末で有料データベース提供 ○マイカースペース：デトロイト公共図書館 ・コンピュータや編集機能、3Dプリンターが利用できるスペースを開架室の中に設置。</p> <p>○塩尻市立図書館と複合施設えんぱーくの紹介 ・複合施設の1,2階が図書館となっている。 ラーニングコモンズのようなスペースが多くある。 ・供用空間が多くあり好みの場所を使うことができる。 ・となり同士のテーブルで交流がうまれることもある。 ・会議室はガラス張りで中の様子が見える。</p> <p>○図書館が市民の問題を支援 いじめ、離婚、同性婚など様々な問題に対して 図書館がブックリストを作成して支援している。</p> <p>○特定の市民の利用に丁寧に応えること。悪い意味での平等サービスとは対極にあり、新しい動きか。</p>	<p>○事務局より提案 ○第一章：多摩市民の図書館のいま 多摩市の図書館の現状と課題について ○第二章：多摩市民のめざす図書館 基本方針・運営方針・ヒアリング結果をふまえ、図書館の全体システムとまちづくりを検討 ○第三章：多摩市民を支える中央図書館 新本館の機能について、平成22年図書館協議会答申をふまえて、策定委員会で議論する ○第四章：中央図書館づくりの進め方 資料・職員などについて、裏方の部分</p> <p>○「知の地域づくり」「知的地域再生」 図書館計画とまちづくりは重要なテーマ</p> <p>○基本計画では「もののデザイン」 基本構想では「ことのデザイン」</p>	<p>○将来は電子的資料やデータベースなどが増えていく。 多様な種別のものを資料と捉えてはどうか。 ○本も大切だが、コンピュータ・ネットワーク、情報媒体が今後重要になる。</p> <p>○資料費、現在の予算は充分ではない。開架室が広くなると相対的に古い資料が多くなり、魅力の維持ができない。継続的にある程度の資料費が必要。</p>
行動プログラム説明会と図書館への意見			<p>○基本構想に盛り込みたい項目（サービス/他）</p> <p>○あまり取り組めていないサービス ・課題解決型、ビジネス支援、行政支援 ・行政資料室はあるが、資料をまとめているだけ。 ・議会図書室も、使いやすいように整備されていない。 ○サービス側の体制づくりに直結している。 「図書館員」に「司書の特別養成」質の向上を記載する。 ○ビジネス支援は、個別の課題解決に含まれるかも。 ○就業支援で、地元に根付いた仕事を紹介するということがあれば、若者の定住につながるのでは。 ○障がい者サービスは中央館に移すのか、利用者の多いところで行うか検討したい。 ○視覚・精神など様々な障がいがあり、個別にサービスをしなければならない。</p> <p>○指定管理運営の図書館、資料が利用されない自習スペースに。図書館員の意識的な取り組みや工夫ができないことが問題か。 ○資料を活かすには司書の働きが重要。異動のルール化含めて、職員を育てる工夫を考えたい。</p> <p>○SNSなどでの発信も必要。図書館でイベントをやっていても知られていないことがある。若者に向けて発信することを考えたい。</p> <p>○図書館協議会の活性化 定数を元に戻して。若い方や障がい者グループの枠を設ける。協議会も増回するよう考えたい。</p> <p>○市民協働を進めるなら図書館と市民が直接意見交換できるよう、直営を維持したい。唐木田の直営化検討。</p> <p>○多摩市の政策や将来予測も基本構想に反映させていく必要がある。少ない予算をどう活用していくか。</p> <p>○中央図書館にはどういった機能やサービスが必要か、根本的に今の本館に抜けているものは何か。 ○中央図書館については、概念規定を始めから行わず、多摩市に必要な図書館機能を挙げて、これは中央館の機能だとふりわけてはどうか。</p>
予定地の自動車アクセス環境	<p>新本館建設予定地について</p> <p>(多摩市に中央図書館をつくる会から)</p> <p>○新本館建設予定地について「駅前が望ましいので、検討の余地を残したい」と基本構想に記載したい。 ○市役所を含め、施設再編は計画は流動的なのに、図書館敷地だけが決まっている。</p> <p>○今の本館は10年間の暫定利用、移転が延長すると、さらに建物を持たせるための整備費用がかかる。 ○桜美林学園からの提案は新本館整備のよい機会。 長年必要とされてきた本館機能の整備は喫緊の課題。 教育委員会としてその方向で進むという回答をした。 ○そうした流れで、策定委員会に基本構想を議論していただいていることをご理解いただきたい。</p>	<p>○図書館に滞在する人が増えてくる。広いスペース。 ○パソコン端末やWi-Fi環境を整える必要あり。</p> <p>○資料が一番重要。見つけやすく、課題解決につながる資料。</p> <p>○世界を体感できる豊かで深みのあるコレクション。 予算・人・資料という三つの構成要素をしっかりと持つて、地道にサービスを行っている他の事例。</p> <p>○児童書を幅広く収集。</p>	<p>○基本構想の表現</p> <p>○行いたいサービスや活動を挙げて、実行するための課題をあげるとめざすイメージができる、何をすべきか見えてくる。 ○大きな枠組みを決めて、具体的な事例を書いていくよい。 ○「見出し」になるような方向付けをある程度行い、市民からいただいた意見も整理していかなければよい。</p>